

### 重点項目スコア・結果シート

(仮称)HIRAKO.1-BLD.

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2014年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2014(v.1.22)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>1. 温暖化対策</b>				<b>1.9</b>
LR1	エネルギー	1.9	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	2.2	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>				<b>1.6</b>
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
<b>3. 循環型社会</b>				<b>3.0</b>
LR2.1	水資源保護	2.2	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.3	0.01875	

### 結果

#### 1. 温暖化対策

評価点 = 1.9



#### 2. 自然共生

評価点 = 1.6



#### 3. 循環型社会

評価点 = 3.0



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。